

科目	現代の国語	単位数	2	週時間数	2	年次・コース・組	1年 探究コース 5組
使用教材	『高等学校 現代の国語』 「現代の国語 学習課題集」 「カラー版 新国語便覧」						

目 標	①実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。 ②主体的に学習する態度を土台として、国語の基礎力である知識・技能を活用し情報を精査・解釈する力を身に付ける。 ③国語を的確に理解し、適切に表現する力を土台として、ものの見方・感じ方・自分の考えの形成に役立てる態度を養う。
-----	--

身につけてもらいたい力

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
評価 規 準	ステップ3 本文中の常用漢字・語句・語彙・文章の組み立てや接続についてよく理解し、得られた知識を活用できている。また、文章中の情報の扱い方について理解し得られた知識を活用できている。	文章の構成や展開、表現の仕方をよく工夫し、読み手に十分な理解を与えることができている。また、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することができている。情報を相互に関係づけながら書き手の意図まで解釈し、構成や論理展開を評価することができている。	個別の方法をどのように一般化しているかを進んで捉え、学習課題に沿って説明しようとしている。筆者の提言に対する自己の意見を積極的に考え、表現の仕方を工夫して書こうとしている。
	ステップ2 本文中の常用漢字・語句・語彙・文章の組み立てや接続についてある程度理解できている。また、文章中の情報の扱い方について理解できている。	文章の構成や展開、表現の仕方を理解して、自分の考えをまとめることができている。また、内容や構成、論理の展開を一応捉え、要旨を把握することができている。情報を相互に関係づけ、内容を理解することができている。	個別の情報をどのように一般化しているかを進んで捉えようとしている。また、筆者の提言に対する自己の意見を書こうとしている。
	ステップ1 本文中の常用漢字・語句・語彙・文章の組み立てや接続についての理解に乏しい。また、文章中の情報の扱い方についての理解に乏しい。	自分の考えをまとめることが不十分で読み手の理解を得られていない。また、内容や構成、論理の展開を捉えることができていない。情報を関連付けることによる内容な解釈に不十分な点がある。	個別の情報をどのように一般化しているかを捉えようとしていない。筆者の提言の理解、自分の考えの表明に不十分な点がある。
評価方法	定期試験、授業時の観察、課題テスト、小テスト	定期試験、授業時の観察、作文や小論文、発表、話し合い、課題テスト、小テスト	授業に取り組む姿勢や意欲 課題等の取り組み 自己評価シート

※この評価規準(目標)により評価しますが、各単元の目標や難易度によって達成度が変わってきます。

それらを考慮しながらA、B、Cの評価をし、またそれを基に5段階の評価がつけます。

授業の形態、方法

一斉授業の他に、個人・集団での発表、話し合いなどを行います。自分の考えを持ち、ほかの生徒の皆さんと積極的に意見を交わしてください。また、自分の意見を文章で書いてもらいます。授業の学習内容を生かし、構成や言葉を効果的に用いて、自分の考えを論理的に述べましょう。積極的に取り組んでください。

担当者より

「文章を読む」ということは、書き手の主観的な体験を味わう(追体験する)行為です。「読む」ことを通じて、他人の眼鏡を使って世界を見ることができ、世界の見え方が変わります。「読書」は現代文の力を伸ばす方法の1つです。「文章を書く」ということは、自分の身体感覚や感じたことを、客観的な言葉を使って他者へと伝える行為です。伝えるための技術(言葉の選び方、文章の組み立て方)の習練を怠らないで下さい。現代文は「授業」が勝負です。授業の中で、普段何気なく使ってる言葉に向き合い、物の見方・考え方を磨いていきましょう。

学習計画

月	単 元 名	予定時数	学 習 の 内 容 と ね ら い	実施時数
4	・授業ガイダンス ・図書館ガイダンス	2	すべての単元を通じて、文章の要旨を理解し、その意見について自分の考えを書いたり話したりすることで他者と言葉を通じて伝え合う多様な言語活動を展開する。また、(現代の社会生活が必要とされている実用的な文章を含めた)他の文章と読み比べ、内容や表現の仕方について感想を述べたり批評したりすることで、自分の考えを形成するトレーニングを行う。	
	「生きもの」として生きる 中村 桂子	4	・筆者の提案する人間の生き方について、自分に照らして考えを深める。 ・対比による文章把握を行い、要旨を理解できる。 ・自分が生活の中で持ち得る「生き物としての感覚」をあげ、それが生き方や社会を変えるどのような切り口になりえるか、文章にまとめる(書く)。	
5	「水の東西」 山崎 正和	4	・東西の対比関係を用いながら、日本の水文化にみられる特徴について論じる叙述の方法を把握する。 ・内容や構成、論理の展開を的確にとらえ、要旨を把握する。 ・文章の要約を書くことができる。	
	<前期中間試験Ⅰ>	1		
6	論理分析 対比 「間」の感覚高階秀爾 7月模試対策	8	・日本と西欧の住居構造における対比関係を用いながら、内と外の区別という観点を導き出し、さらに日本人の意識の中にある内と外の二重の対比構造を論じる叙述の方法を把握する。 ・内容や構成、論理の展開を的確にとらえ、要旨を把握する。 ・文章の要約を書くことができる。 ・7月記述模試に向けて、過去問を用いて論理的文章の演習を行う。	
	<前期中間試験Ⅱ>	1		
7・8	「ものことば」 鈴木 孝夫 読書指導・感想文指導	6	・具体(例示)と抽象(意見)の関係を整理して論理構成を把握し、筆者が主張する言語の性質を理解する。 ・言葉が認識や思考を支えることについて、他のテキストと読み合わせて、説明の仕方を工夫して、理解したこと を報告しようとしている(書く)。 ・文章の要約を書くことができる。 ・読書感想文コンクールで入賞した作品を読み、自分の作品に生かすようにする。 ・夏休みに向けて、自分で感動した本を友達に紹介する(話す)。	
		1		
9	「文化」としての科学 池内 了	5	・筆者が主張する科学と技術の違いを対比的に整理し、現状における科学と技術の関係を理解する。 ・文章の要約を書くことができる。	
	<前期期末試験>	1		
10	書き方の基礎レッスン	6	・原稿用紙の使い方や言葉の使い方を学び、自分が文章を書く際に生かせるようにする。 ・指定された文章を要約することができる(書く)。 ・自分の意見と対立する意見を利用して、自分の意見を述べることができる(話す)。 ・意見文の書き方を理解し、実践する(書く)。 ・書いた文章を進んで批評し、批評を踏まえて、文章の構成・展開や表現を工夫する(話す)。	
	社会に対する意見文を書く			
11	フェアな競争 内田 樹 11月模試対策	8	・筆者が自説を述べるための論の進め方を捉え、「社会的共通資本」と「フェアな競争」との関係を押さえる。 ・現代社会や政治について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する(書く)。 ・本文を要約する(書く)。 ・本文で示された哲学者の実績について粘り強く調べ、内容のかかりがわかるようにまとめる(書く)。 ・「私作りとプライバシー」を読み、「事実」と「意見」についての考えを深める。 ・11月記述模試に向けて、過去問を用いて論理的文章の演習を行う。	
	<後期中間試験>	1		
12	実用的な手紙文 スピーチで自分を伝える 1月模試対策	8	・実用的な手紙文として、一般的なあいさつ文を学び、手紙の形式を学ぶ。 ・はがきの書き方を学び、年賀状を書く(書く) ・自分の意見を大勢の聞き手にわかりやすく伝えるスピーチの方法を理解し、実践する。 ・他の人のスピーチを聞き取り、評価する方法を学ぶ。 ・1月記述模試に向けて、過去問を用いて論理的文章の演習を行う。	
1	不均等な時間 内山 節 <後期期末試験>	5	・具体的事例から一般論への展開と、対比構造とを手掛かりとし、近代化と時間の合理性との関係を理解する。 ・近代における時間について述べた文章を読み、自分の意見や考えを述べる(話す)。 ・本文を要約する。 ・既習の評論と粘り強く読み比べ、持続可能な社会に関する意見文を書く(書く)。	
2・3		4		
合計時数		65		